

# 令和8年和泉市教育委員会第7回定例会

日 時：令和8年7月16日（木） 午後3時00分から  
場 所：和泉市役所3階 3A・3B会議室

## 1. 開 会

## 2. 会議録署名委員の指名について

## 3. 教育長の報告

## 4. 審議事項

- 議案第37号 和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第38号 和泉市生涯学習推進委員会規則を廃止する規則制定について
- 議案第39号 和泉市温水プール条例施行規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第40号 「いずみ希望塾」「AIドリル」について
- 議案第41号 和泉市社会教育委員の委嘱について

## 5. 報告事項

- (1) 令和9年度和泉市教育委員会任期付市費負担教育職員の採用試験募集要項について
- (2) 英語力向上支援講座について

## 6. 情報提供

- (1) 令和8年和泉市議会第2回定例会における議決審議の結果等について
- (2) 叙勲について

## 7. 行事等のご案内

- (1) 和泉市70周年記念献立～給食から育む和泉市の明るい未来への発展～の実施について
- (2) ミニビブリオバトル in 和泉の開催について
- (3) 和泉市制施行70周年記念「まなび・つながり・体験フェスタ」の開催について
- (4) 令和8年度和泉市小学生読書おたよりコンクールの開催について
- (5) 令和8年度和泉市中学生POPコンクールの開催について
- (6) 第11回和泉市図書館を使った調べる学習コンクールの開催について
- (7) 第74回信太山クロスカントリー大会 in 大阪和泉の開催について
- (8) 和泉市制施行70周年記念・和泉市文化財保護条例制定30周年記念「写真と映像でたどる和泉市民の70年」展の開催について
- (9) 和泉市制施行70周年記念久保惣記念美術館「無料ご招待5DAYS」の実施について

8. その他

9. 閉会

教育長の報告（令和8年6月18日～令和8年7月15日）①

|                          |                                         |
|--------------------------|-----------------------------------------|
| <u>6月19日（金）</u>          | 公開校内研修（いぶき野小学校）                         |
| <u>6月20日（土）</u>          | 令和8年度和泉市防災協会定期総会（桃山学院大学）                |
| <u>6月21日（日）</u>          | 和泉市職員採用3次試験（市役所）                        |
| <u>6月22日（月）</u>          | 公開校内研修（伯太小学校）<br>和泉市職員採用委員会（3次）（市役所）    |
| <u>6月23日（火）～6月24日（水）</u> | 令和8年和泉市議会第2回定例会＜一般質問＞（議場）               |
| <u>6月25日（木）</u>          | 公開校内研修（芦部小学校）                           |
| <u>6月26日（金）</u>          | 令和8年和泉市議会第2回定例会＜議案審議＞（議場）               |
| <u>6月27日（土）</u>          | 令和8年度泉北地区管理職予備選考（高石市役所）                 |
| <u>6月29日（月）</u>          | 公開校内研修（南池田小学校）                          |
| <u>6月30日（火）</u>          | 泉北地区人事協議会（教育長室）<br>感謝状贈呈式（のばた歯科）（公室）    |
| <u>7月1日（水）</u>           | 和泉市「社会を明るくする運動」街頭啓発活動（和泉府中駅周辺）          |
| <u>7月2日（木）</u>           | 富秋学園工事現場視察（富秋中学校）<br>公開校内研修（信太小学校）      |
| <u>7月3日（金）</u>           | 大阪府都市教育長協議会7月定例会（アウィーナ大阪）               |
| <u>7月4日（土）</u>           | 和泉市「社会を明るくする運動」推進大会（コミュニティセンター）         |
| <u>7月6日（月）</u>           | 大阪府教育庁市町村教育室長訪問（教育長室）                   |
| <u>7月7日（火）</u>           | 令和8年度第1回和泉市児童生徒支援コーディネーター研修会（和泉市教育センター） |

教育長の報告（令和8年6月18日～令和8年7月15日）②

- 7月8日（水）      和泉市立青少年の家愛称選定（1次審査）（市役所）  
令和8年度和泉市小・中・義務教育学校 副校長・教頭対象生徒指導研修会（市役所）  
男女共同参画推進本部会議（市役所）
- 7月9日（木）      和泉市制施行70周年記念事業 NHK公開収録「天才てれびくんgrow」  
（和泉シティプラザ）
- 7月10日（金）      叙勲伝達式（教育長室）
- 7月13日（月）      第3回学力向上検討委員会（市役所）
- 7月14日（火）      ディスプレイ贈呈式（ソロプチミスト大阪-いずみ）（公室）

## 和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則の一部改正（概要）

学校教育室

## 1. 改正の理由

○和泉市立富秋学園の設置に伴い、就学区域を再編するもの。

## 2. 改正の内容

○池上小学校、幸小学校及び信太小学校の一部を富秋学園の就学区域とする。  
（現富秋中学校の就学区域と同じ）

| 学校名  | 区域                                                                                                                                                | 現行の小学校区       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 富秋学園 | 池上町（阪和線以東の区域を除く。）、<br>池上町一丁目～四丁目、<br>富秋町一丁目～三丁目                                                                                                   | 池上小学校<br>【全部】 |
|      | 池上町（阪和線以東の区域）、<br>幸一丁目～幸三丁目、<br>伯太町（都市計画道路池上下宮線以北の区域）、<br>伯太町四丁目（6の5、36の9、46の2、<br>75の2、135の11、135の16、93<br>4のそれぞれの地番を結ぶ線（都市計画道路池<br>上下宮線）以北の区域）、 | 幸小学校<br>【全部】  |
|      | 葛の葉町一丁目～三丁目※                                                                                                                                      | 信太小学校<br>【一部】 |

【※葛の葉町一丁目～三丁目の児童生徒の取扱い】

- ・保護者の申出により、信太小学校及び信太中学校に就学できることとする。
- ・令和9年度に信太小学校に継続して就学することを選択した場合でも、中学入学時に富秋学園に就学できることとする。
- ・兄弟姉妹がいる場合は、兄弟姉妹が富秋学園に就学する年度にあわせて富秋学園に就学できることとする。

## 3. 施行期日

令和9年4月1日

ケース① 令和９年度に富秋学園または引き続き信太小学校を選択

| 学年 | R8  | R9                                                                                |
|----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 中3 |     |                                                                                   |
| 中2 |     |                                                                                   |
| 中1 |     |                                                                                   |
| 小6 |     | 富秋学園または<br>信太小学校                                                                  |
| 小5 | 信太小 |  |
| 小4 |     |                                                                                   |
| 小3 |     |                                                                                   |
| 小2 |     |                                                                                   |
| 小1 |     |                                                                                   |

ケース② 令和１０年度に富秋学園または信太中学校を選択

| 学年 | R8  | R9  | R10                                                                                 |
|----|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 中3 |     |     |                                                                                     |
| 中2 |     |     |                                                                                     |
| 中1 |     |     | 富秋学園または<br>信太中学校                                                                    |
| 小6 |     | 信太小 |  |
| 小5 | 信太小 |     |                                                                                     |
| 小4 |     |     |                                                                                     |
| 小3 |     |     |                                                                                     |
| 小2 |     |     |                                                                                     |
| 小1 |     |     |                                                                                     |

ケース③ 兄弟姉妹がいる場合（下の子の小学校入学時に上の子も富秋学園を選択）

| 学年 | R8  | R9  | R10  |
|----|-----|-----|------|
| 中3 |     |     |      |
| 中2 |     |     |      |
| 中1 |     |     |      |
| 小6 |     |     |      |
| 小5 |     |     |      |
| 小4 |     |     | 富秋学園 |
| 小3 |     | 信太小 | ②    |
| 小2 | 信太小 |     |      |
| 小1 |     |     | 富秋学園 |
| 年長 |     | ●   | ①    |
| 年中 | ●   |     |      |
| 年少 |     |     |      |

②兄弟も同じタイミングで富秋学園選択可

① R10 弟妹が小学校入学時に  
富秋学園を選択

ケース④ 兄弟姉妹がいる場合（上の子の中学校入学時に下の子も富秋学園を選択）

| 学年 | R8  | R9  | R10  |
|----|-----|-----|------|
| 中3 |     |     |      |
| 中2 |     |     |      |
| 中1 |     |     | 富秋学園 |
| 小6 |     | 信太小 | ①    |
| 小5 | 信太小 |     |      |
| 小4 |     |     | 富秋学園 |
| 小3 |     | 信太小 | ②    |
| 小2 | 信太小 |     |      |
| 小1 |     |     |      |
| 年長 |     |     |      |
| 年中 |     |     |      |
| 年少 |     |     |      |

① R10 兄姉が中学入学時に  
富秋学園を選択

②弟妹も同じタイミングで富秋学園選択可

## 和泉市生涯学習推進委員会規則の廃止について(概要)

生涯学習推進室

### 1. 廃止の理由

より一体的に生涯学習施策を推進するため、和泉市生涯学習推進委員会と和泉市社会教育委員会議の機能を統合する必要があり、和泉市附属機関条例に関する条例の一部改正により、和泉市生涯学習推進委員会が廃止された。これに伴い、同委員会について定めた規則を廃止する。

### 2. 施行期日

公布の日から施行する。

## 和泉市温水プール条例施行規則の一部を改正する規則制定について（概要）

生涯学習推進室

## 1. 改正の理由

施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し基本方針」に基づき、和泉市温水プールの利用料金が令和9年4月1日から見直される（和泉市温水プール条例の改正）ことに伴い、和泉市、泉大津市または高石市に住所を有する定期利用者の減免額を定める和泉市温水プール条例施行規則を改正する必要がある。

## 2. 主な改正の内容

和泉市、泉大津市または高石市に住所を有する定期利用者の減免額を定める別表第1を改正

温水プール利用料金表（1人1か月あたり）

【改正前】

|       | 区分      |             | 利用料金  | 減免する利用料金 | 減免後の利用料金 |
|-------|---------|-------------|-------|----------|----------|
| 定期利用者 | 温水プール   | 小人（小・中学生）   | 2,500 | 630      | 1,870    |
|       |         | 大人          | 5,000 | 1,250    | 3,750    |
|       |         | 高齢者（満65歳以上） | 5,000 | 3,130    | 1,870    |
|       | トレーニング室 | 大人          | 5,000 | 1,250    | 3,750    |
|       |         | 高齢者（満65歳以上） | 5,000 | 3,130    | 1,870    |
|       | 共通      | 大人          | 7,500 | 1,250    | 6,250    |
|       |         | 高齢者（満65歳以上） | 7,500 | 4,380    | 3,120    |



【改正後】

|       | 区分      |             | 利用料金  | 減免する利用料金 | 減免後の利用料金 |
|-------|---------|-------------|-------|----------|----------|
| 定期利用者 | 温水プール   | 小人（小・中学生）   | 3,120 | 780      | 2,340    |
|       |         | 大人          | 6,250 | 1,570    | 4,680    |
|       |         | 高齢者（満65歳以上） | 6,250 | 3,910    | 2,340    |
|       | トレーニング室 | 大人          | 5,150 | 1,290    | 3,860    |
|       |         | 高齢者（満65歳以上） | 5,150 | 3,220    | 1,930    |
|       | 共通      | 大人          | 9,370 | 1,430    | 7,940    |
|       |         | 高齢者（満65歳以上） | 9,370 | 5,400    | 3,970    |

## 3. 施行期日

令和9年4月1日

# 「いずみ希望塾」「AIドリル」について

---

第7回教育委員会定例会

R8.7.16

いずみ希望塾について

# 令和9年度以降の「いずみ希望塾(案)」

|        | 小学生 (Elementary)                  | 中学生 (Junior High)                       |
|--------|-----------------------------------|-----------------------------------------|
| コンセプト  | 紙教材を中心とした習慣形成                     | 自律型個別学習<br>(定員半減・頻度倍増)                  |
| 定員     | 現状維持 (400名～425名)                  | 半減 (200名～210名)                          |
| 頻度     | 週1回対面 + 家庭学習支援                    | 週2回対面                                   |
| 教材     | 主に紙教材 (AIは補助)                     | 持参課題 (テスト勉強可)                           |
| 目標     | 学習習慣の土台づくり                        | 成績向上・受験対策                               |
| 学習内容   | つまずきやすい問題に特化                      | ・自分が学習したい内容<br>自分が学習すべき内容<br>・つまずきやすい問題 |
| 学校との連携 | 学習計画を学校と共有                        | 学習計画を学校と共有                              |
| 備考     | 「分かった」という自信をつけさせることで、学習習慣も身についていく | 何に取り組んでよいかわからない生徒については、取り組む学習内容を提案する    |

# 6/18に開催の総合教育会議での主なご意見

【教材】 「紙教材に変えることは良いこと」 「紙を見てじっくり考える力も不可欠」

→紙教材とA Iドリルそれぞれの特長を踏まえ、**紙教材を基本**としながら、**A Iドリルは補助的・効果的に活用あり**。

【学習内容】 「自律型個別学習におけるリスクが気になる」 「適切な教材をどう選ぶかが重要」

→自律的な学習を基本としつつ、**必要に応じて学習内容を提案**するなど、生徒の状況に応じた支援をめざす。

→市内の児童生徒が**共通して苦手とする単元（算数の分数や割合など）に特化**あり。

【学校との連携】 「学習計画を学校と共有する仕組みは素晴らしい」

→**学校と学習計画を共有**しながら、学校・家庭・希望塾が連携した支援をめざす。

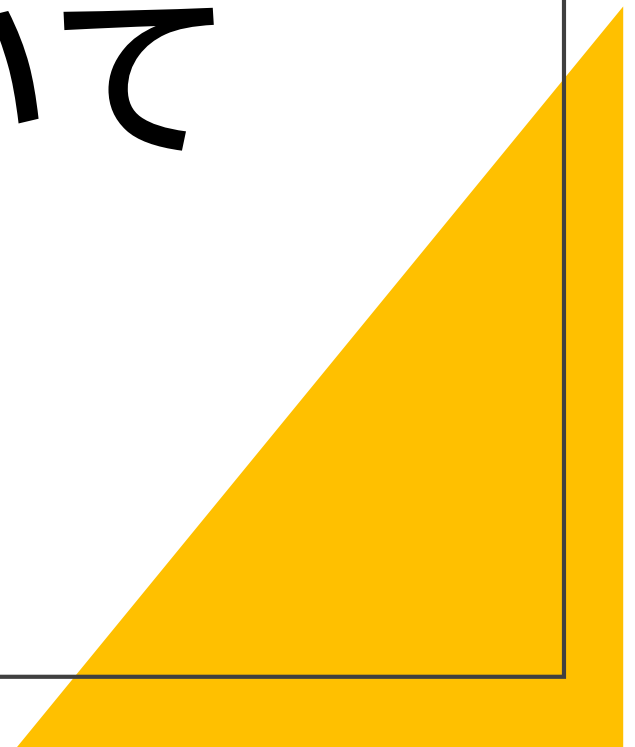
→共通して苦手とする単元に特化することで**学校教育を補完**する役割も担う。

【学習意欲の向上】 「意欲向上がポイント」 「できたという実感が重要」 「学習への興味の持たせ方」

→紙教材をメインとすることで、**つまずいている箇所に講師が気づき、適切に声をかける**といった関わりが機能することで、こどもたちの学習意欲はさらに向上すると考える。

→講師（あるいは学校の先生）による**励ましや働きかけ**を通じて、学習意欲の維持・向上をねらう。

AIドリルについて

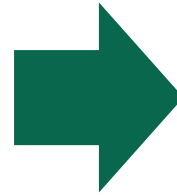


# 1. 市一括提供と学校裁量活用の整理

統一するのはツール、画一化しないのは活用方法

## 市が担うこと

市で  
同じAIドリルを  
一括提供



## 共通基盤

同じツール  
同じ学習ログ  
同じ支援の土台

## 市が担うこと

- ・ 学校間・生徒間の機会差を抑制
- ・ 活用状況の把握
- ・ 好事例共有・低活用校支援



## 学校が担うこと

- ・ 授業・朝学習・家庭学習等を選択
- ・ 生徒の実態に応じた場面設定
- ・ 学習ログをもとに声かけ
- ・ 補充指導・面談へ接続

市一括提供により継続性と公平性を確保し、活用方法は各学校の実情に応じて柔軟に設計する

## 2. 6/18開催の総合教育会議での主なご意見

### 1. デジタルと紙教材の適切な使分け

- ・AIドリルは「知識・技能」の定着や苦手分野の効率的な学習には非常に有効
- ・「思考力・判断力・表現力」を養うには、書く過程が残る紙教材を活用した学校での学習が不可欠
- ・それぞれの良さを融合させた形での運用が求められる

### 2. 「努力」の見える化

- ・どれくらいAIドリルを活用すれば、どれくらい成績が上がったかという成果を数値やグラフで見える化できるとよい
- ・生徒が自分自身の努力の成果を実感でき、自律的な学習への意欲向上につなげることが重要

### 3. 学校へのサポート

- ・ツールの導入後、学校に、すべて委ねるのではなく、市が効果的な活用モデルを示すなど、助言を行う必要がある
- ・好事例の収集と共有を行うことで、教員の意識改革や学校全体の活用の底上げを図る

### 3. 次期調達時に確認する観点

学習インフラとしてAIドリルを継続するために、機能・運用・費用を総合的に確認する

○・・・これまでも行ってきた確認項目  
追・・・新たな確認項目

#### 学習支援機能

- ：個別最適化の精度
- ：複数教科・学年をまたぐ復習
- 追：生徒の頑張りが評価される機能

⇒生徒の活用の継続性向上

#### 教員支援機能

- ：管理者確認機能
- 追：ダッシュボードの見やすさ
- 追：つまずき把握のしやすさ

⇒言葉かけ・補充指導への接続

#### 運用・サポート

- ：研修・問い合わせ対応
- ：学校ごとの運用支援
- 追：名簿連携・年度更新の負担軽減

⇒活用率増加、活用方法の拡幅

#### データ活用

- ：月次レポートの提供
- 追：市が学校別状況を、随時把握できる機能

⇒学習ログを活用した施策改善

「単なる教材比較」ではなく、**学習機会保障と教員支援を支える基盤**としての妥当性を確認

# 今後のスケジュール

## いずみ希望塾

- R8. 7. 16 R9事業内容方針決定
- R8. 9月 事業者選定開始
- R8. 11月 事業者決定
- R9. 1月 R9募集開始
- R9. 2月 受講者選考
- R9. 3月 受講予定者面談
- R9. 4月 開講式

## AIドリル

- R8. 7. 16 R9事業内容方針決定
- R8. 9月 事業者選定開始
- R8. 11月 事業者決定
- R8. 12月 システム構築
- R9. 2月 学校周知・教員研修
- R9. 4月 利用開始

## 和泉市社会教育委員名簿(案)

| No. | 氏 名                | 所属・職名                           | 備 考                             | 任 期                        |
|-----|--------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| 1   | かつらぎ ゆりこ<br>葛城 有理子 | 和泉市小学校校長会<br>(和泉市立鶴山台南小学校 校長)   | 1号委員<br>(学校教育関係者)               | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 2   | こじやま あきら<br>小路山 彰  | 和泉市文化協会 会長                      | 2号委員<br>(社会教育関係者)               | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 3   | さわむら なおゆき<br>澤村 直幸 | 和泉市青少年指導員協議会 会長                 |                                 | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 4   | ちば しゅういち<br>千葉 昌一  | 和泉市こども会育成連絡協議会<br>会長            |                                 | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 5   | かなたに ただお<br>金谷 忠男  | 和泉市スポーツ推進委員協議会<br>会長            |                                 | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 6   | まえやま きよみ<br>前山 紀代美 | 図書館ボランティア 子どもと本を<br>よむ会「青い鳥」 代表 |                                 | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 7   | つじもと ひさこ<br>辻本 久子  | 和泉市PTA協議会 顧問                    | 3号委員<br>(家庭教育の向上に資する<br>活動を行う者) | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 8   | いのうえ さとし<br>井上 敏   | 桃山学院大学 経営学部教授                   | 4号委員<br>(学識経験者)                 | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 9   | みずぬま ゆひろ<br>水沼 友宏  | 桃山学院大学 経営学部教授                   |                                 | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |
| 10  | おおにし たつこ<br>大西 起子  | 公募による市民                         | 5号委員                            | 令和8年8月1日から<br>令和10年7月31日まで |

## 【社会教育法】抜粋

（審議会等への諮問）

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が審議会等で政令で定めるものの、地方公共団体にあっては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

（社会教育委員の設置）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

（社会教育委員の職務）

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

（1）社会教育に関する諸計画を立案すること。

（2）定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

（3）前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

（社会教育委員の委嘱の基準等）

第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

## 【和泉市社会教育委員に関する条例】抜粋

（委嘱の基準）

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

（1）学校教育関係者

（2）社会教育関係者

（3）家庭教育の向上に資する活動を行う者

（4）学識経験者

（5）公募による市民

（任期）

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠として委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前項の規定にかかわらず、委員に特別の事情が生じた場合には、教育委員会は、その任期中であっても、これを解嘱することができる。

## 【和泉市教育委員会の事務委任等に関する規則】抜粋

第2条 教育委員会は、法第25条第2項に定めるもののほか次に掲げる事項を除き、その権限に属する教育事務を教育長に委任する。

（1）学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。

（2）重要な教育財産の取得及び処分の手続に関する事。

（3）教育内容の方針に関する事。

（4）教科用図書の採択に関する事。

（5）社会教育委員等の個別の法律に定めのある委員の任免に関する事。

（6）請願及び訴訟に関する事。

（7）前各号に掲げるもののほか、委員会が重要と認める事項

## 令和6・7年度 社会教育委員会議・研修等の実施状況について

## &lt;令和6年度&gt;

| 日 時          | 内 容                                                                                           |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年9月4日(水)  | 第1回和泉市社会教育委員会議                                                                                |
| 令和6年9月6日(金)  | 近畿地区社会教育研究大会(京都大会)<br>研究主題:人がつながりあう地域をめざして<br>～ウェルビーイングを高める社会教育のあり方～<br>場所:京都テルサ(京都府民総合交流プラザ) |
| 令和7年2月14日(金) | 大阪府社会教育研究会議<br>内容:①講演「地域連携と人材育成」<br>②グループ協議<br>場所:大阪大学中之島センター                                 |
| 令和7年2月19日(水) | 泉北・泉南地区各市町社会教育委員研修会<br>場所:久保惣記念美術館                                                            |
| 令和7年3月18日(火) | 第2回和泉市社会教育委員会議                                                                                |

<令和7年度>

| 日 時               | 内 容                                                                                                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年 9 月5日(金)     | <p>近畿地区社会教育研究大会(和歌山大会)</p> <p>研究主題:人の和と地域の和</p> <p>～全世代の主体的な学びを支える社会教育～</p> <p>場所:和歌山県民文化会館 和歌山県自治会館</p> <p>※気象警報等発令のため中止</p>             |
| 令和 7 年11月27日(木)   | <p>大阪府社会教育研究会議</p> <p>内容:①講演「教育コミュニティ」づくりの新たな展開</p> <p>～「オモロイ」社会教育のために社会教育委員ができること～</p> <p>②グループ協議</p> <p>場所:大阪府立中之島図書館</p>               |
| 令和 8 年 2 月19日(水)  | <p>泉北・泉南地区各市町社会教育委員研修会</p> <p>内容:①講演</p> <p>「人が育ちあう地域社会をつくる～社会教育委員の役割～」</p> <p>②キターネホール、かむかむプラザ(熊取町公民館)見学</p> <p>場所:熊取町文化ホール(キターネホール)</p> |
| 令和 8 年 3 月 3 日(火) | <p>第1回和泉市社会教育委員会議</p>                                                                                                                     |

## 議案第37号

和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則の一部を改正する規則制定について

和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

令和8年7月16日提出

和泉市教育委員会教育長 大槻 亮志

### 理 由

和泉市立富秋学園の設置に伴い、和泉市立学校の就学区域を再編する必要がある。

これが、この規則案を提出する理由である。

和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則の一部を改正する規則（案）

和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則（昭和31年和泉市教育委員会規則第19号）の一部を次のように改正する。  
次の表の右欄に掲げる規定を同表の左欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 新                          |      |  | 旧                          |                                                                            |  |
|----------------------------|------|--|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--|
| (小学校就学区域)                  |      |  | (小学校就学区域)                  |                                                                            |  |
| 第2条 小学校に就学すべき区域は、次のとおりとする。 |      |  | 第2条 小学校に就学すべき区域は、次のとおりとする。 |                                                                            |  |
| 学校名                        | 区域   |  | 学校名                        | 区域                                                                         |  |
|                            | (中略) |  |                            | (中略)                                                                       |  |
| 伯太小学校                      | 略    |  | 伯太小学校                      | 略                                                                          |  |
|                            | (中略) |  | 池上小学校                      | <u>池上町（阪和線以東の区域を除く。）、池上町一丁目、池上町二丁目、池上町三丁目、池上町四丁目、富秋町一丁目、富秋町二丁目及び富秋町三丁目</u> |  |
|                            | (中略) |  |                            | (中略)                                                                       |  |
| 北松尾小学校                     | 略    |  | 北松尾小学校                     | 略                                                                          |  |
|                            |      |  | 幸小学校                       | <u>幸一丁目、幸二丁目、幸三丁目、伯太町（都市計画道路池上下宮線以北の区域）、伯太町四丁目（6の5、</u>                    |  |

| 新                          |                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | 旧                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                       |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>36の9、46の2、75の2、135の11、135の16、934のそれぞれの地番を結ぶ線（都市計画道路池上下宮線）以北の区域）及び池上町（阪和線以東の区域）</u> |
| 信太小<br>学校                  | 上町（145、116、200の1から200の9、207の1から207の11、358の11から358の25、561の2から561の10、564の21、564の22、577の9から577の15、580、595の11、612の各番地を除く。）、尾井町（274、275、319から398、609から791、1080から1098、1147及び1260から1281の各番地を除く。）、尾井町一丁目、尾井町二丁目、王子町（662番地、1118番地及び1123番地を除く。）、王子町一丁目、王子町二丁目、王子町三丁目、葛の葉町及び太町 |  | 信太小<br>学校                  | 上町（145、116、200の1から200の9、207の1から207の11、358の11から358の25、561の2から561の10、564の21、564の22、577の9から577の15、580、595の11、612の各番地を除く。）、尾井町（274、275、319から398、609から791、1080から1098、1147及び1260から1281の各番地を除く。）、尾井町一丁目、尾井町二丁目、王子町（662番地、1118番地及び1123番地を除く。）、王子町一丁目、王子町二丁目、王子町三丁目、葛の葉町、 <u>葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目、葛の葉町三丁目</u> 、太町 |                                                                                       |
| (以下略)                      |                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | (以下略)                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                       |
| (中学校就学区域)                  |                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | (中学校就学区域)                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                       |
| 第3条 中学校に就学すべき区域は、次のとおりとする。 |                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | 第3条 中学校に就学すべき区域は、次のとおりとする。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                       |
| 学校名                        | 区域                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 学校名                        | 区域                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                       |

| 新                             |                                                                                                                                                                                               | 旧                             |                                                             |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------|
|                               | (中略)                                                                                                                                                                                          |                               | (中略)                                                        |
| 信太中学校                         | 信太小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校に就学すべき区域                                                                                                                                                                 | 信太中学校                         | 信太小学校(葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目及び葛の葉町三丁目を除く。)、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校に就学すべき区域 |
|                               |                                                                                                                                                                                               | 富秋中学校                         | 幸小学校及び池上小学校に就学すべき区域、葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目及び葛の葉町三丁目                |
| (義務教育学校就学区域)                  |                                                                                                                                                                                               | (義務教育学校就学区域)                  |                                                             |
| 第4条 義務教育学校に就学すべき区域は、次のとおりとする。 |                                                                                                                                                                                               | 第4条 義務教育学校に就学すべき区域は、次のとおりとする。 |                                                             |
| 学校名                           | 区域                                                                                                                                                                                            | 学校名                           | 区域                                                          |
|                               | (中略)                                                                                                                                                                                          |                               | (中略)                                                        |
| 槇尾学園                          | 略                                                                                                                                                                                             | 槇尾学園                          | 略                                                           |
| 富秋学園                          | 池上町、池上町一丁目、池上町二丁目、池上町三丁目、池上町四丁目、富秋町一丁目、富秋町二丁目、富秋町三丁目、幸一丁目、幸二丁目、幸三丁目、伯太町(都市計画道路池上下宮線以北の区域)、伯太町四丁目(6の5、36の9、46の2、75の2、135の11、135の16、934のそれぞれの地番を結ぶ線(都市計画道路池上下宮線)以北の区域)、葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目及び葛の葉町三丁目 |                               |                                                             |

| 新                                                                                                                                   | 旧                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>附 則</p> <p>1、2 略</p> <p>3 第4条の規定により富秋学園に就学すべき児童生徒のうち、葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目及び葛の葉町三丁目のものについては、当分の間、保護者の申出により信太小学校及び信太中学校に就学することができる。</p> | <p>附 則</p> <p>1、2 略</p> <p>3 第3条の規定により富秋中学校に就学すべき生徒のうち、王子川水路以北の葛の葉町（阪和線以東の飛地番を除く。）、王子川水路以北で、かつ、阪和線以西の太町及び尾井町のものについては、当分の間、保護者の申出により信太中学校に就学することができる。</p> |

#### 附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、令和9年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の日の前日において現に信太小学校に就学している児童又は信太中学校に就学している第1学年及び第2学年の生徒のうち、葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目及び葛の葉町三丁目のものについては、改正後の和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区域規則第4条の規定にかかわらず、保護者の意向により引き続きそれぞれ信太小学校又は信太中学校に就学することができる。
- 3 前項の規定により、引き続き信太小学校に就学する児童は、中学校入学時に富秋学園に就学することができる。
- 4 第2項の規定により、引き続き信太小学校又は信太中学校に就学する児童生徒のうち、新たに富秋学園の第1学年に入学する弟妹があるもの又は、前項の規定により新たに富秋学園の第7学年に就学する兄弟姉妹があるものについては、当該兄弟姉妹が富秋学園に就学する年度に富秋学園に就学することができる。

## 議案第38号

和泉市生涯学習推進委員会規則を廃止する規則制定について

和泉市生涯学習推進委員会規則を廃止する規則を次のように制定する。

令和8年7月16日提出

和泉市教育委員会教育長 大槻 亮志

### 理 由

より一体的に生涯学習施策を推進するため、和泉市生涯学習推進委員会と和泉市社会教育委員会議の機能を統合する必要がある。

これが、この規則案を提出する理由である。

和泉市教育委員会規則第 号

和泉市生涯学習推進委員会規則を廃止する規則(案)

和泉市生涯学習推進委員会規則(平成24年和泉市教育委員会規則第10号)は、廃止する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

## 議案第39号

和泉市温水プール条例施行規則の一部を改正する規則制定について

和泉市温水プール条例施行規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

令和8年7月16日提出

和泉市教育委員会教育長 大槻 亮志

### 理 由

施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、和泉市温水プールの利用料金が見直されたことに伴い、定期利用者の減免額を改定する必要がある。

これが、この規則案を提出する理由である。

和泉市教育委員会規則第 号

和泉市温水プール条例施行規則の一部を改正する規則

和泉市温水プール条例施行規則（平成9年和泉市教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

次の表の右欄に掲げる規定を同表の左欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 新           |         |                 |       |               |               | 旧           |         |                 |       |               |               |
|-------------|---------|-----------------|-------|---------------|---------------|-------------|---------|-----------------|-------|---------------|---------------|
| 別表第1（第5条関係） |         |                 |       |               |               | 別表第1（第5条関係） |         |                 |       |               |               |
|             | 区分      |                 |       | 利用料金          | 減額する利用料金      |             | 区分      |                 |       | 利用料金          | 減額する利用料金      |
| 定期利用者       | 温水プール   | 小人<br>(小・中学生)   | 1人1か月 | <u>3,120円</u> | <u>780円</u>   | 定期利用者       | 温水プール   | 小人<br>(小・中学生)   | 1人1か月 | <u>2,500円</u> | <u>630円</u>   |
|             |         | 大人              | 1人1か月 | <u>6,250円</u> | <u>1,570円</u> |             |         | 大人              | 1人1か月 | <u>5,000円</u> | <u>1,250円</u> |
|             |         | 高齢者<br>(満65歳以上) | 1人1か月 | <u>6,250円</u> | <u>3,910円</u> |             |         | 高齢者<br>(満65歳以上) | 1人1か月 | <u>5,000円</u> | <u>3,130円</u> |
|             |         |                 |       |               |               |             |         |                 |       |               |               |
|             | トレーニング室 | 大人              | 1人1か月 | <u>5,150円</u> | <u>1,290円</u> |             | トレーニング室 | 大人              | 1人1か月 | <u>5,000円</u> | <u>1,250円</u> |
|             |         | 高齢者<br>(満65歳以上) | 1人1か月 | <u>5,150円</u> | <u>3,220円</u> |             |         | 高齢者<br>(満65歳以上) | 1人1か月 | <u>5,000円</u> | <u>3,130円</u> |
|             | 共通      | 大人              | 1人1か月 | <u>9,370円</u> | <u>1,430円</u> |             | 共通      | 大人              | 1人1か月 | <u>7,500円</u> | <u>1,250円</u> |
|             |         | 高齢者<br>(満65歳以上) | 1人1か月 | <u>9,370円</u> | <u>5,400円</u> |             |         | 高齢者<br>(満65歳以上) | 1人1か月 | <u>7,500円</u> | <u>4,380円</u> |

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この規則は、令和9年4月1日から施行する。

### (準備行為)

- 2 利用に係る料金の受領その他この規則の施行に関し必要な行為については、この規則の施行の日前においても行うことができる。

### (経過措置)

- 3 この規則による改正後の和泉市温水プール条例施行規則別表第1の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る料金について適用し、同日前の利用に係る料金については、なお従前の例による。

## 議案第40号

「いずみ希望塾」「A Iドリル」について

令和9年度以降の「いずみ希望塾」の実施方法および「A Iドリル」の導入方法は別紙のとおりとする。

令和8年7月16日提出

和泉市教育委員会教育長 大槻 亮志

理 由

学力向上の取組みにあたり、令和9年度以降の「いずみ希望塾」の実施方法および「A Iドリル」の導入方法を決定する必要がある。  
これが、この議案を提出する理由である。

(別紙)

## 1.「いずみ希望塾」の実施方法

|          | 小学生（義務教育学校前期課程）                                          | 中学生（義務教育学校後期課程）                                       |
|----------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 定員       | 400 名～425 名（現状維持）                                        | 200 名～210 名（半減）                                       |
| 頻度       | 週 1 回対面＋家庭学習支援                                           | 週 2 回対面                                               |
| 教材       | 主に紙教材（AI ドリルは補助）                                         | 持参課題（テスト勉強可）                                          |
| 目標       | 学習習慣の土台づくり                                               | 成績向上・進路対策                                             |
| 学習内容     | ・つまずきやすい問題に特化<br>（家庭学習では AI ドリルを活用）                      | ・自分が学習したい内容、自分が学習すべき内容<br>・つまずきやすい問題                  |
| 学校との情報共有 | いずみ希望塾の学習計画を提供                                           | いずみ希望塾の学習計画を提供                                        |
| 備考       | ・紙教材を中心とした習慣形成<br>・「分かった」という自信をつけさせることで、<br>学習習慣を身につけさせる | ・自律型個別学習<br>・何に取り組んでよいかわからない生徒については、<br>取り組む学習内容を提案する |

## 2.「AIドリル」の導入方法

- ・市立中学校（義務教育学校後期課程）の生徒に対して、市で一律の AI ドリルを一括提供する
- ・活用方法は各学校の実情に応じて柔軟に設計する

議案第41号

和泉市社会教育委員の委嘱について

和泉市社会教育委員に関する条例（昭和45年3月31日条例第7号）第3条の規定に基づき、別紙の者を和泉市社会教育委員に委嘱する。

令和8年7月16日提出

和泉市教育委員会教育長 大槻 亮志

## 令和 9 年度和泉市教育委員会任期付市費負担教育職員 採用試験募集要項

令和 8 年 7 月  
和泉市教育委員会

和泉市教育委員会では、和泉市立中学校及び義務教育学校後期課程における任期付市費負担教育職員（以下「中学校講師」といいます。）の採用試験を実施します。

中学校講師として、一般の府費負担教員と同様に学級担任や教科担任等の職務に従事していただきます。また、労働条件や休暇制度については概ね府費負担教員と同様ですが、一部の手当につきましては、和泉市職員と同様となります。

## 記

## 1. 募集職種、採用予定人数及び受験資格

| 募集職種  | 採用予定人数 | 受験資格                                                                            |
|-------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 中学校講師 | 10 人程度 | (1) 大学推薦枠<br>・ 令和 8 年度卒業及び中学校教員免許状取得見込の者                                        |
|       |        | (2) 一般募集枠<br>・ 既に中学校教員免許状を所有または取得見込の者                                           |
|       |        | (3) 勤務学校長推薦枠<br>・ 令和 8 年度 <u>和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校に勤務し、かつ中学校教員免許状を所有または取得見込の者</u> |

※ 国籍は問いません。

※ 令和 9 年度の生徒数、配置条件によって採用者数は変動する場合があります。

※ 地方公務員法第 16 条及び学校教育法第 9 条各号に定める欠格事項に該当する人は、受験できません。

〔欠格事項〕

（地方公務員法第 16 条関係）

- ・ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 本市の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者
- ・ 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、地方公務員法第 60 条から第 63 条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

（学校教育法第 9 条関係）

- ・ 拘禁刑以上の刑に処せられた者
- ・ 教育職員免許法第 10 条第 1 項第 2 号又は第 3 号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から 3 年を経過しない者
- ・ 教育職員免許法第 11 条第 1 項から第 3 項までの規定により免許状取上げの処分を受け、3 年を経過しない者
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

※ 令和 8 年 12 月 25 日に施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和 6 年法律第 69 号）第 2 条第 8 項に規定する特定性犯罪事実該当者に該当する人は、受験できません。

(学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止のための措置に関する法律)

## 第2条 (略)

8 この法律において「特定性犯罪事実該当者」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

- (1) 特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者(その刑の全部の執行猶予の言渡しを受けた者(当該執行猶予の言渡しを取り消された者を除く。次号において「執行猶予者」という。)を除く。)であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して20年を経過しないもの
- (2) 特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者のうち執行猶予者であって、当該裁判が確定した日から起算して10年を経過しないもの
- (3) 特定性犯罪について罰金を言い渡す裁判が確定した者であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して10年を経過しないもの

## 2. 仕事の内容

和泉市立中学校又は義務教育学校に勤務し、学級担任や教科担任等に従事します。

## 3. 受験手続

### (1) 申込用紙

採用試験申込書・受験票・大学長推薦書・勤務学校長推薦書は、本市ホームページからダウンロードし、A4用紙に片面印刷して使用するか、もしくは和泉市教育委員会【和泉市役所5階 学校教育室教職員担当(15番窓口)】まで直接取りにきてください。

### (2) 申込方法

所定の採用試験申込書・受験票に必要事項を自筆または電子で記入および写真を貼付し、推薦書(大学推薦枠のみ必要)、勤務学校長推薦書(勤務学校長推薦枠のみ必要)を添えて、下記の申込受付場所まで持参又は郵送してください。

なお、採用試験申込書と受験票には、同一の写真(6ヶ月以内に撮影 正面・脱帽)を貼付してください。

#### ①持参による申込

和泉市役所5階 学校教育室教職員担当(15番窓口)まで

#### ②郵送による申込

〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号

「和泉市教育委員会事務局 学校教育室 教職員担当」宛

※封筒の表に「採用試験申込書在中」と朱書きし送付してください。

また、持参、郵送に関わらず、ご自身の郵便番号・あて先を明記の上、「簡易書留」と朱書きし、460円分の切手を貼った返信用の定型封筒(受験票の送付の際使用します)を必ず同封してください。

### (3) 受付期間

①持参の場合 令和8年8月3日(月)～10月2日(金)までの執務時間内

[執務時間は、午前8時45分から午後5時15分まで(土日祝を除く)]

②郵送の場合 令和8年8月3日(月)～10月2日(金)までの消印有効

※試験の案内については、令和8年10月9日(金)までに返信用封筒にて送付します。

#### 4. 採用試験日時及び集合場所等

採用試験：個人面接（約30分）※模擬授業を含む

日 時：令和8年10月17日（土）・18日（日）のいずれか1日

9時～12時 または13時～16時

※開始時間は受験票に記載して送付します。

※模擬授業は「令和9年度大阪府公立学校教員採用選考テスト」に準じます。

集合場所：和泉市役所 4階 4B会議室

#### 5. 結果通知

令和8年10月23日（金）発送

※電話等での照会は、受付できません。

#### 6. 採用までの流れ

|                |
|----------------|
| 1. 採用試験（本試験）合格 |
|----------------|

↓

|                                        |
|----------------------------------------|
| 2. 和泉市教育委員会より採用者へ「結果通知」を発送（令和8年10月23日） |
|----------------------------------------|

↓

|                                       |
|---------------------------------------|
| 3. 和泉市教育委員会より採用候補者へ配置校の連絡（令和9年2月1日以降） |
|---------------------------------------|

↓

|                                 |
|---------------------------------|
| 4. 採用（令和9年4月1日、当該中学校・義務教育学校へ配置） |
|---------------------------------|

※採用試験に合格されなかった場合でも、希望される方へ府費負担教員としての採用情報を本市教職員担当者から提供する場合があります（申込書に記入）。

#### 7. 任用期間

原則、令和9年4月1日から令和10年3月31日まで

#### 8. 勤務条件等（令和8年5月1日現在）

（1）勤務時間 原則、月曜日から金曜日の当該校における勤務時間

（例）8時30分から17時00分まで（休憩時間45分）

週38時間45分勤務

（2）勤務場所 和泉市立中学校、義務教育学校

### (3) 給与

給料は、本市の条例等の規定により定められた額を支給します。

<参考>令和8年4月1日時点

採用時年齢、職務経験年数等で算出し、職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当を含む

20歳、2年制大学を卒業してすぐ採用された場合 258,700円

22歳、4年制大学を卒業してすぐ採用された場合 275,300円

※ 上記は一例です。過去の職務経験等によって異なります。

その他、条例に基づき、扶養手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給されます。

また、退職手当についても支給されます（ただし、自己都合による退職の場合は支給されないことがあります）。

### (4) 社会保険

共済制度及び年金制度の適用を受けます。

### (5) 健康管理

職員には、定期的に健康診断が実施されます。公務上のけがなどについては公務災害補償が受けられます。

### (6) 福利厚生

貸付や各種の制度があります。

労働条件は、府費負担教員と同様の勤務体制ですが、一部の手当につきましては、和泉市職員と同様になります。

## 9. その他注意事項

(1) 試験当日は、必ず受験票を持参し定刻に集合してください。

(2) 試験に関する提出書類は、一切お返しできません。

なお、申込書に記載された情報は、この採用試験の円滑な遂行のために用い、それ以外の目的には一切使用しません。（ただし、府費負担の講師登録を希望された場合は記載された連絡先へ別途連絡する場合があります。）

(3) ①大学推薦枠、②一般募集枠における欠席者向けの再試験は、原則予定していません。

(4) ③勤務学校長推薦枠受験者において、試験日が勤務の関係などで難しい場合は再試験の対応を行います。

この試験についての詳細は、下記の連絡先にお問い合わせください。

和泉市教育委員会事務局 学校教育室 教職員担当(和泉市役所 5 階 ⑮番窓口)  
〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目 7 番 5 号 TEL 0725-99-8167(直通)

(参考)

任期付市費講師 配置状況等について

【配置経過】

|       | 採用数 | 新規   | 更新   |
|-------|-----|------|------|
| R6 年度 | 7 人 | 7 人  | —    |
| R7 年度 | 16人 | 13 人 | 3 人  |
| R8 年度 | 19人 | 9 人  | 10 人 |

【担当内容】

R8 年度 通常学級担任：11 人 支援学級担任：6 人 専科指導担当：2 人

【配置校より】

- ・ 同僚教員とともに教育活動、各校の諸課題にまじめに取り組んでいる
- ・ 細やかな生徒対応ができ、力を発揮してくれている
- ・ 部活動の顧問として生徒に関わりいい関係を築いている

【配置後の進路】

R6年度7人のうち令和 7 年度は以下の通り

- ・ 和泉市にて新規採用教員として配置 1 人
- ・ 他市他県にて採用選考合格 2 人
- ・ 任期付市費講師として継続任用 4 人

R7年度16 人のうち令和 8 年度は以下の通り

- ・ 和泉市にて新規採用教員として配置 2 人
- ・ 和泉市にて府費負担講師として任用 2 人
- ・ 任期付市費講師として継続任用 10 人
- ・ 退職 2 人

英検®1級・準1級・2級に本気で挑む!!

報告事項 2



令和8年度 和泉市  
中学生  
英語力向上支援講座  
受講生募集

AI×コーチング

募集期間

6/24 水 ~ 7/31 金

下記QRコードからお申し込み

お申し込み  
受付中!!



<https://izumi.tiifa.jp/eiken/coaching-course/entry>

本講座では、特許取得AI搭載の英語学習アプリTiiFaと専門講師による指導を組み合わせ、一人ひとりのレベルに合わせた最適な学習を提供し、英検®1級・準1級・2級の合格を支援します。

また英検®合格だけでなく、将来英語を使って学び・発信する力を身につけることを大切にしています。

開講コース

1級、準1級、2級

生徒の未来を  
語学でひらく  
英語学習特化型AI教材

TiiFa

英語4技能別  
今日のおすすめ問題!



POINT 1 /

### AIアプリで学習

特許取得AIが5万問超の問題から今やるべき最適問題を提示。ライティング/スピーキングも自動採点でどんどん実力UP



POINT 2 /

### 個別・集団コーチング

英検®指導豊富な専門講師がオンラインによる集団×個別（級別の規定回数）コーチングで、学習者を徹底サポート



POINT 3 /

### TiiFa University

合格で終わらせない。世界で活躍する大学教授らグローバルリーダーの特別講義で、世界の最先端を体感、未来を切り拓こう

対象

和泉市在住中学生  
(義務教育学校後期課程も含む)

受講費用

受講者負担額 (市補助適用後・4か月総額/税込)

1級: 10,890円

準1級: 7,700円

2級: 5,940円

※和泉市の補助により、受講者負担は受講料の1割のみとなります。  
※振込手数料は別途かかります。

(※通常税込価格 1級:108,900円、準1級:77,000円、2級:59,400円)

定員

1級: 3名程度

準1級: 19名程度

2級: 96名程度

※応募多数の場合は上位級を優先し選考します。

※定員は変動する場合あり

応募資格



CEFR対照表

・受講コースの1つ前の級(同等のCEFRレベルの資格)を所持していることを証明できる者。※1級コース応募の場合は準1級を所持していること。ただし2級コース応募の場合は準2級も可。

・講座受講後、下記の期日までに対象の級の英検®を受験する者。(受験費用は自己負担)

S-CBT: 令和9年1月末まで

従来型: 令和8年度第3回まで

※S-CBT、従来型どちらでも可

コーチング

集団: 約1時間 (木曜日)

19:00~20:00 2級

20:00~21:00 1級・準1級

個別: 約30分 (実施日は応相談)

(※集団・個別のいずれもオンライン実施)

# 4か月の真剣勝負。使える英語を身につけよう。

## プログラム概要

特許取得のAI搭載アプリのTiiFa BASE(語彙・フレーズ学習)・TiiFa LS(4技能学習)・TiiFa(文法・語法/長文演習)を活用し、目標とする級の学習をサポート。そして集団コーチングではプロのコーチが日々の学習傾向を分析し、弱点などを演習、振り返りを行います。個別コーチングでは個別の弱点の深掘りや試験直前の不安を解消し、学習者をサポートします。AI×コーチングで学習を効率化し、約4か月の短期間で、高難度な英検®取得をめざします。

## スケジュール

集団コーチング(1級): 9/3、9/17、10/8、10/22、11/5、11/19、12/10、12/24 ※すべて木曜日

個別コーチング(1級): 9~12月: 各月2回(合計で8回実施。実施日は応相談)

集団コーチング(準1級・2級): 9/3、9/10、9/17、10/1、10/8、10/22、11/5、11/12、  
11/19、12/3、12/10、12/24 ※すべて木曜日

個別コーチング(準1級・2級): 9~12月: 各月1回(合計で4回実施。実施日は応相談)

## TiiFaについて

動作環境: 和泉市で使用しているGIGA端末も可!

ブラウザ Google Chrome(最新版)/Safari(最新版)

モバイルアプリ iOS 15.6以降/Android 13以降



英検®はもちろん、入試・海外進学にも対応。  
ネイティブアカデミックディレクターが厳選した  
時事英語に強くなるTiiFaの実用英語コンテンツ



TiiFaでいつでも本格英語4技能学習。  
特許取得のAIが今解くべき最適な問題を出題。  
英作文、面接練習もAI採点でどんどん実力UP

※学習効果の学術的検証あり(国際会議発表・共同研究)

TiiFaのデイリーランキング×バッジシステムで、  
毎日の英語学習が習慣に。実力の伸びを数値で  
確認、実感しながら楽しく学ぶ仕組みが満載

## 数字で見るTiiFa英検®対策

◆合格者数(2023年度第3回~2025年度第3回)  
⇒1級3、準1級112、2級253、合計368名

※小中学生高校生含む

◆上位級直近の合格率(2025年度)

⇒2級: 一次95% 二次100%、準1級: 一次75% 二次100%

(※受験者数: 2級20名、準1級8名)

## TiiFa University&Mentors

英検®を取得するだけでなく、学習した英語を使用したグローバルな視点を育成。講義内容は「AIが世界を理解する仕組み」、「食メディア」、「モーションキャプチャー×3D」(昨年度実施)など、世界を舞台に活躍する有名大学教授や各分野の専門家が直接登壇し解説します。また海外大で学ぶ先輩たちのMentorsプログラムも実施!グローバルリーダーたちから直接世界の最先端を肌で感じ、英語で世界を切り拓く視点を獲得しよう。

回数: 期間中全6回(オンライン)(アーカイブでの視聴も可能)

・英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

・このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。



## 応募に関するお問い合わせ

和泉市教育委員会 ☎ 0725-99-8165

平日 9:00~17:00 学校教育室 教育推進担当

## 内容に関するお問い合わせ

TiiFaサポートデスク ☎ 06-6630-9191



support@tfa-lab.jp

平日 9:00~18:00

令和8年度 和泉市中中学生英語力向上支援講座

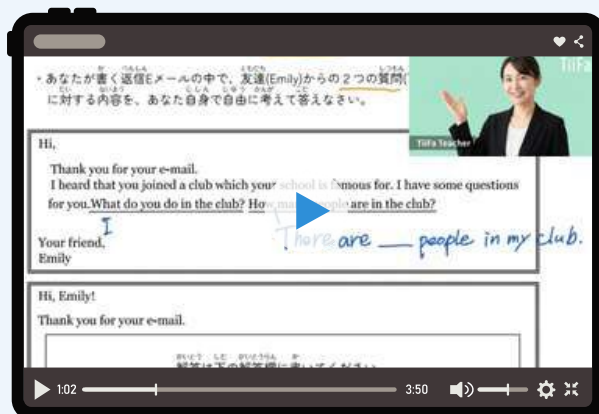
# 中学生 英検®対策動画講座

英検®準2級・3級

+ AI学習アプリ TiiFa BASE

全員 無料配信

和泉市在住の中学生（義務教育学校後期課程含む）なら、  
誰でも・無料で使える英検®対策プログラム。  
英検®指導のプロによる「Writingの型」を中核とした解説動画と、  
特許取得AI搭載アプリで、視て・解いて・覚える学習を毎日の習慣に。



対象

市内在住の全中学生

公立・私立は問いません  
(義務教育学校後期課程も含む)

費用

無料

和泉市の事業として提供

配信期間

令和8年7月～令和9年3月

学習進度に合わせ順次配信

▶ 6つのテーマ × 各3本 = 全18本の動画（各級180分以上） 1本約10分・くり返し視聴OK

1 語彙×文法

2 Reading

3 Listening

4 Writing

5 Speaking

6 過去問対策

どの分野も、1分野につき約10分×3本のステップ構成。学習段階に合わせて効率よく学べる順番で、順次配信します。  
動画で学んだ「型」は、AI学習アプリTiiFa BASEの語彙・演習・確認テストで毎日トレーニングできます。

市立中学生のみなさん

申込不要！学校のGoogleアカウントでログインするだけ。学校の先生の案内・指示にしたがって利用を進めてください。

国立・私立中学生のみなさん（市内在住）

右のQRコードから申請してください。  
TiiFaからアカウントを発行し、利用方法のご案内をいたします。

※和泉市に在住されているかの確認を行います

<https://lizumi.tiifa.jp/eiken/video-course/entry>



事業に関するお問い合わせ：和泉市教育委員会 ☎0725-99-8165（平日9:00～17:00 学校教育室 教育推進担当）

内容・利用方法のお問い合わせ：TiiFaサポートデスク ☎06-6630-9191 support@tifa-lab.jp（平日9:00～18:00）

動作環境：Google Chrome/Safari（最新版）、iOS 15.6以降/Android 13以降

※和泉市で使用しているGIGA端末も利用できます ※通信費は自己負担

・英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

・このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

※英検®2級以上をめざす人は「英語力向上支援講座」（別チラシ）もチェック！

生徒の未来を  
語学でひらく  
英語学習特化型AI教材

TiiFa

# TiiFa 英検®対策動画 カリキュラム



英検®指導のプロによる、合格力とともに実用英語力を育む全6テーマ

| テーマ（開講月）         | 3級 各テーマ概要                              | 準2級 各テーマ概要                  |
|------------------|----------------------------------------|-----------------------------|
| ① 語彙×文法（7月～）     | コア語彙＋差がつく文法3項目（時制・疑問/否定・比較）で基礎の“型”を固める | 語彙を増強し、現在完了・受動態・比較（発展）で表現拡張 |
| ② Reading（9月～）   | 読む順番と根拠の取り方を“手順化”して安定得点                | 量が増えても、要点把握→根拠特定でぶれない読みへ    |
| ③ Listening（9月～） | 先読み→予測→根拠→選択で、スキルを構築                   | 一度で聴き切り、メモ・根拠判断を高速化。ひっかけ対策も |
| ④ Writing（10月～）  | Eメール返信と意見英作文を“型”でおさえる                  | “質問を作る”型＋理由の具体化で説得力を上げる     |
| ⑤ Speaking（11月～） | 沈黙ゼロの“答えの型”習得（音読・描写・質問対応）              | 結論→理由→具体で、意見を迷わず話せる状態に      |
| ⑥ 過去問活用対策（12月～）  | 過去問活用でより確実な合格力へ（時間計測→判断根拠→ミス分類→解き直し）   | 同じ運用で精度を一段上へ。弱点は前テーマへ戻して反復  |

配信：7月～学習の進度に合わせ順次公開 / ～令和9年3月くり返し視聴OK

※各テーマ、3本のポイント別動画（1本約10分前後）を順次配信。  
※各級 全6テーマ・計18本を配信予定。



## TiiFa BASE — 3つの重点学習ポイント

動画で学んだ「型」を、特許取得AIのTiiFa BASEで毎日トレーニング。なかでも次の3つを意識して重点的に学習を進めます。

### ■ 語彙×文法 — すべての基盤

各級のコア語彙（3級1,500語／準2級2,300語ほか）と、Writingで差がつく文法項目を重要フレーズを通して習得します。

### ■ Writingの“型”を固める

得点効率の高い英語の型をAI推薦で反復学習。「迷わず書ける」基盤を作り、その先の「話せる」実力へつなげます。

### ■ 3級→準2級へ段階的に伸ばす

3級で英語の基本の“型”を固め、準2級で語彙・フレーズ数の増強、表現の格上げ・英文論理表現へ。無理なく本格的な英語力を伸ばします。



事業に関するお問い合わせ：和泉市教育委員会 ☎0725-99-8165（平日9:00～17:00 学校教育室 教育推進担当）  
内容・利用方法のお問い合わせ：TiiFaサポートデスク ☎06-6630-9191 support@tfa-lab.jp（平日9:00～18:00）  
・英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。  
・このコンテンツは、同協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

生徒の未来を  
語学でひらく  
英語学習特化型AI教材

TiiFa

## AI × 専門講師が中学生の英検®合格を支援

和泉市教育委員会では、英検®1級・準1級・2級をめざす中学生(義務教育学校後期課程、国立・私立に通う生徒を含む、以下、中学生という)に対し、AIアプリを活用した学習と専門講師による個別・集団コーチング指導を組み合わせた講座の受講料の9割を補助します。

また、英検®準2級・3級をめざす中学生にも、全員無料で解説動画とAIアプリを提供します。

このように、英検®の上位級の合格を支援する講座実施は全国的にもめずらしい取り組みです。

和泉市教育委員会では、「中学生英語力向上支援講座」を開講します。これは、中学生の英語力向上を推進するため、特許取得 AI 搭載の英語学習アプリ「TiiFa」と専門講師によるコーチングを組み合わせ、一人ひとりのレベルに合わせた最適な学習を提供し、英検®1級・準1級・2級の合格を支援するものです。

この講座は、英検®合格だけでなく、世界を舞台に活躍する有名大学教授や各分野の専門家の講義を通じ、将来英語を使って世界を切り拓く意欲を育むことも大切にしています。

■募集期間 令和8年6月24日(水)～7月31日(金)

■対象 和泉市在住中学生

■定員 1級:3名程度、準1級:19名程度、2級:96名程度

※応募多数の場合は上位級を優先し選考します。定員は変動する場合があります。

■受講期間 令和8年9月～令和8年12月

■コーチング 集団:約1時間、個別:約30分(いずれもオンライン)

■受講費用 受講者負担額(市補助適用後・4ヶ月総額・税込み)

1級:10,890円、準1級:7,700円、2級:5,940円

■応募資格 ・受講する1つ前の級(2級講座受講の場合は準2級でも受講可能)を所持していることを証明できること

・講座受講後、指定の期間までに対象の級の英検®を受験すること(受験費用は自己負担)

また、英検®準2級・3級の合格をめざす中学生にむけては、「英検®対策動画講座」とAI学習アプリ「TiiFa BASE」を無料で提供し、合格を支援します。

対象は、和泉市在住の全中学生で、費用は無料、配信期間は令和8年7月から令和9年3月までとしています。

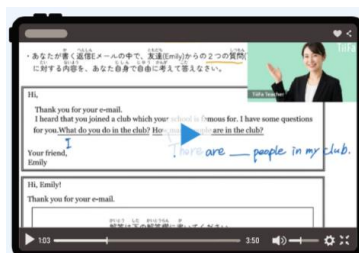
TiiFa アプリイメージ



オンラインコーチングイメージ



英検®対策動画および  
TiiFa BASE イメージ



<お問い合わせ先>

学校教育室 教育推進担当 担当者：隅埜 TEL：0725-99-8165

## 1. 議案等

| No | 議案/報告                                                                      | 概要                                               | 質問・要望                               | 答弁                                                                                                          | 結果 |
|----|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1  | <p>【報告】<br/>一般財団法人和泉市文化振興財団令和7年度決算書類の提出について</p> <p>【久保惣記念美術館】</p>          | 一般財団法人和泉市文化振興財団の令和7年度の決算に関する報告を行う。               | なし                                  | なし                                                                                                          | —  |
| 2  | <p>【報告】<br/>一般財団法人和泉市文化振興財団令和8年度事業計画書類の提出について</p> <p>【久保惣記念美術館】</p>        | 一般財団法人和泉市文化振興財団の令和8年度の事業計画に関する報告を行う。             | なし                                  | なし                                                                                                          | —  |
| 3  | <p>【議案】<br/>和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【学校教育室】</p> | 府費負担教育職員の手当との均衡を図るため、市費負担教育職員の手当について所要の措置を講ずるもの。 | <p>【埴田委員】<br/>教員の部活動従事に係る手当について</p> | 部活動従事にあたっては、顧問教諭が活動時間の設定を含む「毎月の活動計画」を作成し、校長へ事前提出することとなっている。その計画に記載された部活動従事時間と出退勤システムに入力された時刻を照合することで確認している。 | 可決 |

1. 議案等

| No | 議案/報告                                                                  | 概要                                                                                                          | 質問・要望                                                                    | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 結果 |
|----|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 4  | <p>【議案】<br/>和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【学校教育室】</p> | <p>学校規模の適正化及び小中一貫教育推進の観点から、義務教育学校を新設し、池上小学校及び幸小学校並びに富秋中学校を新設校に統合するため、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正するもの。</p> | <p>【浜田委員】</p> <p>①標準服について</p> <p>②靴に関する規定について</p> <p>③家庭科室等の地域開放について</p> | <p>①制服と標準服の違いについて、制服は、学ランやブレザーなど形や色等を指定し着用を義務づけるものに対して、標準服は、一定のルールを決めて、学校として義務付けるのではなく推奨する服装のこと。検討経過については、富秋中学校での服装自主選択制登校を2回実施し、教職員、生徒の意見も聴取し、学校運営に支障がないことを確認した上で、地域の方や保護者も参画する学校開校準備委員会での検討を経て、標準服を導入しないことを決定した。生徒が服装を選ぶことが自主性を育む機会となることや、体格・性別に応じた服装を選ぶことができるなどの意見をいただいた。服装に迷う保護者や生徒もいることを想定し、一定の目安として、参考となる服装を示す予定。</p> <p>②靴については、現在、特に色や形を指定せず、通学時に安全に歩けることや運動に適した靴を履いてくるように保護者と生徒に通知し、指導している。富秋学園開校後も、同様の対応を予定。</p> <p>③「地域とともにある学校づくり」に向けて、学校を身近に感じ、地域の方々に気軽に学校を訪れてもらうために施設を開放するもので、図書館だけでなく、多目的ホールや家庭科室なども地域の方々に活用いただき、様々な取組みを展開していただきたい。</p> | 可決 |

1. 議案等

| No | 議案/報告                                                                       | 概要                                                                                                         | 質問・要望                                                 | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 結果 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 4  | <p>【議案】<br/>和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【学校教育室】</p>      | <p>学校規模の適正化及び小中一貫教育推進の観点から、義務教育学校を新設し、池上小学及び幸小学校並びに富秋中学校を新設校に統合するため、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正するもの。</p> | <p>【松田委員】</p> <p>①ランリュックについて</p> <p>②葛の葉町への対応について</p> | <p>①学校開校準備委員会において、服装に関する意見交換を複数回実施し、その中で通学カバンや体操服などの学用品に関するアンケート結果を共有したが、ランリュックに関して特に意見はなし。</p> <p>②葛の葉町在住の保護者に向けて、令和8年6月27日に富秋学園の魅力を説明するための説明会を実施する予定。未就学児の保護者に向けては、保育園・幼稚園・こども園にチラシを配布し、説明会の開催を周知する。令和8年8月に就学校の希望調査を実施し、その結果が令和8年9月下旬頃にまとまる予定。また、学校開校準備委員会に参加している葛の葉町の関係者については、町会の代表者並びに保護者の代表者の参画がある。</p> | 可決 |
| 5  | <p>【議案】<br/>和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p>              | <p>より一体的に生涯学習施策を推進するため、和泉市生涯学習推進委員会と和泉市社会教育委員会議の機能を統合するもの。</p>                                             | なし                                                    | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 可決 |
| 6  | <p>【議案】<br/>和泉市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p> | <p>施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し方針」に基づきコミュニティセンターの利用料金を見直すもの。</p>                                     | なし                                                    | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 可決 |

1. 議案等

| No | 議案/報告                                                          | 概要                                                            | 質問・要望 | 答弁 | 結果 |
|----|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------|----|----|
| 7  | <p>【議案】<br/>和泉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p> | 施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し方針」に基づき生涯学習センターの利用料金を見直すもの。 | なし    | なし | 可決 |
| 8  | <p>【議案】<br/>和泉市立図書館条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p>     | 施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し方針」に基づき図書館の利用料金を見直すもの。      | なし    | なし | 可決 |
| 9  | <p>【議案】<br/>和泉市立体育館条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p>     | 施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し方針」に基づき体育館の利用料金を見直すもの。      | なし    | なし | 可決 |

1. 議案等

| No | 議案/報告                                                       | 概要                                                                                                       | 質問・要望 | 答弁 | 結果 |
|----|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|
| 10 | <p>【議案】<br/>和泉市立運動施設条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p> | <p>施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し方針」に基づき運動施設の利用料金を見直すもの。</p>                                         | なし    | なし | 可決 |
| 11 | <p>【議案】<br/>和泉市温水プール条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>【生涯学習推進室】</p> | <p>施設利用に係る受益者負担の適正化を図るため、「公の施設の使用料見直し方針」に基づき温水プールの利用料金を見直すもの。</p>                                        | なし    | なし | 可決 |
| 12 | <p>【議案】<br/>令和8年度和泉市一般会計補正予算（第1号）</p>                       | <p>青少年の家・槇尾山森林浴コース管理運営事業</p> <p>青少年の家改修工事監理委託料更生減<br/>青少年の家改修工事費更生減<br/>施設用備品購入費更生減</p> <p>【生涯学習推進室】</p> | なし    | なし | 可決 |

1. 議案等

| No | 議案/報告                                                   | 概要                                                                                                                                                             | 質問・要望 | 答弁 | 結果 |
|----|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|
| 13 | <p>【議案】<br/>財産取得について（電子黒板機能付き大型提示装置）</p> <p>【学校教育室】</p> | <p>学習者用端末を効果的に活用するため、小中学校の普通教室に設置した大型モニター（50インチ）を、電子黒板機能付き大型提示装置(65インチ)に更新しようとするもの。</p> <p>・契約の方法 指名競争入札<br/>・取得予定価格 2億1,989万円<br/>・取得の相手方 NTT西日本株式会社 関西支店</p> | なし    | なし | 可決 |

2. 厚生文教委員会協議会報告案件

| No | 項目            | 担当課（室）名 | 概要                                                                                                                         | 質問・要望                                                                                                                                               | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|---------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 学力向上検討委員会について | 学校教育室   | <p>「学力向上検討委員会について」</p> <p>1 学力向上検討委員会の概要</p> <p>2 委員会の構成</p> <p>3 開催日程と内容</p> <p>4 その他（今後について）</p> <p>5 第1回および第2回の主な意見</p> | <p>【谷上委員】</p> <p>①いずみ希望塾の事業目的と開始時期について</p> <p>②いずみ希望塾の効果について</p> <p>③全国学力・学習状況調査結果が府平均に達していないことについて</p> <p>④学力向上検討委員会での意見について</p> <p>⑤今後の展開について</p> | <p>①学習意欲はあるが家庭の経済事情等により、学校外での学習の機会を持っていない児童生徒を対象とし、自学自習や学習習慣の定着および基礎学力の向上を目的に、平成29年度から実施。</p> <p>②参加児童生徒対象アンケートの肯定的回答は85%以上。理解度確認テストにおいて、年度末では年度当初と比較して概ね70%の児童生徒の学力が向上。参加児童生徒にとって、家庭学習習慣の定着、および基礎学力向上に効果がある事業であると認識。</p> <p>③全国学力・学習状況調査は、基礎的な知識技能を実生活の課題解決に応用する「思考力・判断力・表現力」を図るもの。いずみ希望塾では、基礎学力の向上をめざして学習を進めており、そこで身につけた基礎学力をいかし、学校での授業をより理解できるようになることで、「思考力・判断力・表現力」の育成を図り、結果として府平均を上回ることをめざしている。</p> <p>④検討委員会の中で、いずみ希望塾のあり方や見直しについての議論も行っている。いずみ希望塾は、教育委員会会議でも議論を重ね、特に中学校の実施方法について見直しが必要であると整理。検討委員会でも、中学生の定員をしばった上で、対面授業の回数を増やすことや、小中ともに児童生徒が苦手としているところ、学びたい、理解したいと望んでいるところを重点的に学べるなどの形態等が必要ではないかとの意見が出された。</p> <p>⑤第3回学力向上検討委員会にてさらに議論を深め、その後、出された意見を参考とし、和泉の子どもたちにとって「より効果的ないずみ希望塾」の実施について、教育委員会会議で、その方向性を決定する予定。</p> |

2. 厚生文教委員会協議会報告案件

| No | 項目                               | 担当課（室）名 | 概要                                                                                                                                                                                                | 質問・要望                                                                                                | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|----------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 学力向上検討委員会について                    | 学校教育室   | <p>「学力向上検討委員会について」</p> <p>1 学力向上検討委員会の概要</p> <p>2 委員会の構成</p> <p>3 開催日程と内容</p> <p>4 その他（今後について）</p> <p>5 第1回および第2回の主な意見</p>                                                                        | <p>【埜田委員】</p> <p>①授業についていくことが難しい子どもたちへの対応について</p> <p>②少人数での授業について</p> <p>③それでもついていけない子どもへの対応について</p> | <p>①すべての子どもたちの学びを保障するため、一人ひとりの学力や興味に合わせて、自分のペースで考えをじっくり深める「個別最適な学び」、自分の考えを友だちと共有したり、話し合ったりして、多様な視点や新しい気づきを得る「協働的な学び」を組み合わせることで、誰一人取り残さない授業づくりをすすめている。有効な手段のひとつとして1人1台学習者用端末の活用をすすめている。加えて、中学校では、効率的に知識技能を定着させるためにAIドリルも活用している。</p> <p>②「加配教員を活用して、学級の人数を半分にして授業を行う学級2分割」や、「1クラスの授業を2人の教員で行うチームティーチング（TT指導）」などの取組みがある。また、小学校では、専科指導として特定教科の専門性のある教員が、より分かりやすく質の高い授業を行ったりもしている。</p> <p>③児童生徒の学習スタイルや興味が多様化する状況を踏まえ、従来の画一的な指導にとどまらず、特に、つまづいている子には基礎的な振り返り教材を活用するなど、一人ひとりに応じた指導を行うことを大切にしている。加えて、教師が教えるという形にとどまることなく、ICT端末を活用して、子ども自身が自分のペースで動画解説を見る、ドリル学習に取り組む、また、教科書や資料、プリントなどの紙媒体を活用して学習するなど、自分にふさわしい学習方法を主体的に選択することも重要。そのうえで、個別最適な学びで培った個々の知識や興味を、「協働的な学び」で共有し、議論を通じてさらに深い学びへとつなげていけるように取り組んでいる。</p> |
| 2  | 令和7年度和泉市コミュニティセンター事業報告及び収支報告について | 生涯学習推進室 | <p>令和7年度和泉市コミュニティセンター指定管理者（株式会社JTBコミュニケーションデザイン）における事業報告及び収支について報告。</p> <p>【指定管理期間】 令和6年4月1日から5年間</p> <p>【利用者数】 97,524人</p> <p>【収入】 46,571,617円</p> <p>【支出】 46,505,876円</p> <p>【収支差額】 65,741円</p> | なし                                                                                                   | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

2. 厚生文教委員会協議会報告案件

| No | 項目                                     | 担当課（室）名 | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 質問・要望 | 答弁 |
|----|----------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|
| 3  | 令和7年度和泉市生涯学習サポート館事業報告及び収支報告について        | 生涯学習推進室 | <p>令和7年度和泉市生涯学習サポート館指定管理者（株式会社ビケンテクノ）における事業報告及び収支について報告。</p> <p>【指定管理期間】 令和3年4月1日から5年間<br/> 【利用者数】 38,150人<br/> 【収入】 44,157,573円<br/> 【支出】 44,667,518円<br/> 【収支差額】 ▲509,945円（指定管理者の負担）</p>                                                                                                                         | なし    | なし |
| 4  | 令和7年度和泉市立青少年の家・槇尾山森林浴コース事業報告及び収支報告について | 生涯学習推進室 | <p>令和7年度和泉市立青少年の家・槇尾山森林浴コース指定管理者（公益財団法人大阪YMCA）における事業報告及び収支について報告。※令和8年1月から工事のため休館</p> <p>【指定管理期間】 令和7年4月1日から1年間<br/> 【利用者数】<br/> 青少年の家 宿泊 1,899人<br/> 青少年の家 昼間 2,293人<br/> 野外活動施設 宿泊 49人<br/> 野外活動施設 昼間 1,607人<br/> 森林浴コース 12,230人<br/> 【収入】 43,014,092円<br/> 【支出】 43,573,730円<br/> 【収支差額】 ▲559,638円（指定管理者の負担）</p> | なし    | なし |

2. 厚生文教委員会協議会報告案件

| No | 項目                           | 担当課（室）名 | 概要                                                                                                                                                                                                                                                           | 質問・要望 | 答弁 |
|----|------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|
| 5  | 令和7年度和泉市立図書館事業報告及び収支報告について   | 生涯学習推進室 | <p>令和7年度和泉市立図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）における事業報告及び収支について報告。</p> <p>【指定管理期間】令和3年4月1日から5年間</p> <p>【入館者数】662,806人<br/> 【貸出件数】256,848件<br/> 【貸出点数】928,437点<br/> 【自習室利用人数】53,673人<br/> 【電子図書館閲覧数】20,202点<br/> 【収入】321,189,015円<br/> 【支出】321,189,015円<br/> 【収支差額】0円</p> | なし    | なし |
| 6  | 令和7年度和泉市内体育館施設事業報告及び収支報告について | 生涯学習推進室 | <p>令和7年度和泉市体育施設指定管理者（KUL和泉市内体育施設管理チーム・公益財団法人大阪YMCA）における事業報告及び収支について報告。</p> <p>【指定管理期間】令和6年4月1日から5年間</p> <p>【利用者数】489,852人<br/> 【収入】318,676,281円<br/> 【支出】354,959,614円<br/> 【収支差額】▲36,283,333円（指定管理者の負担）</p>                                                  | なし    | なし |

3. 一般質問

| No | 質問議員 | 項目            | 担当課（室）名 | 質問・要望                                                                                                                                                                                                                                        | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|------|---------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 吉川議員 | 児童生徒の健康管理について | 学校管理室   | <p>①学校検診の内容とその結果について</p> <p>②学校検診（内科検診）におけるプライバシーの配慮について</p> <p>③長期欠席者に対する学校検診の新たな取組み（令和7年度実績）について</p> <p>④長期欠席者に対する学校検診の新たな取組み（今後の進め方）について</p> <p>⑤紫外線対策に対する教育委員会の考えについて</p> <p>⑥学校現場における熱中症対策について</p> <p>⑦UVサングラス導入（または帽子、日傘の配布）支援への考え</p> | <p>①学校保健安全法に基づく、内科、眼科、耳鼻科、歯科など11項目の他、和泉市独自で、心臓、腎臓、肥満などの検診を実施し、令和7年度の受診者約14,000人のうち、有所見者数は、内科が300人、眼科が158人、耳鼻科が1,327人、歯科が5,286人。</p> <p>②周囲から見えない個別スペースの確保に加え、素肌の上に体操服等を着衣することを基本とするほか、保護者から事前に個別配慮の希望があれば聞き取りのうえ対応するなど、児童生徒のプライバシーや心情に配慮。</p> <p>③原則、各家庭での対応をお願いしているところだが、令和7年度に新たな試みとして、市教育委員会事務局と学校医、各校が連携して、保健センターで内科健診を実施し、希望者42人が受診。この取組みは、疾患の早期発見を目的とした受診機会を確保することに加えて、各校の養護教諭や教員も参加することで、日常では接触がかなわなかった児童生徒の様子を確認できる場ともなり、今年度も実施に向けて、調整を進める。</p> <p>④受診勧奨に対する反応が全くないケースが90%以上(93.4%)を占めており、未受診者の状況をこれまで以上に把握するよう学校に働きかけるとともに、検診実施予定日から十分な周知期間を設けたうえで学校から複数回保護者へ受診を勧奨するなどして、保護者の理解を深めることも含めて、受診できる環境を整える。それでもなお、受診できない場合には、個別に医療機関での受診を勧奨することに加えて、学校医の協力、学校との連携などそれぞれの役割について、丁寧に協議する。</p> <p>⑤文部科学省からの通知はないものの、過剰に紫外線を浴びることで健康への悪影響が懸念されることは認識している。学校で熱中症対策として実施している、屋外活動における時間の工夫や日陰の活用などは、紫外線対策にも寄与するものと考えている。</p> <p>⑥児童生徒の健康保持の観点から、暑さ指数（WBGT）に基づいて活動実施を判断することを前提とする他、通学時においては、帽子着用の推奨や日傘使用を許可するなど、日常的教育活動において必要な措置を講じている。</p> <p>⑦学校では、帽子着用の推奨や日傘使用の許可をしている。帽子については多くの児童生徒が所有しており、日傘を使用している児童生徒も一定数いることを把握しているので、帽子や日傘を公費で配布する考えはないが、改めて、学校での使用状況を確認のうえ意見を聞き取り、そのニーズを捉えていきたい。その間、重要なのは、児童生徒や保護者の意識向上となる啓発であり、学校からの保健だよりや学校通信などで、情報発信する。</p> |

3. 一般質問

| No | 質問議員 | 項目                          | 担当課（室）名 | 質問・要望                                                                                                                                                                                                                                                        | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----|------|-----------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 吉川議員 | 小中学校でのいじめ、学校に行けていない児童生徒について | 学校教育室   | <p>①本市の学校に行けていない児童生徒数の現状について</p> <p>②学校に行けていない児童生徒への支援について</p> <p>③学校に行けていない児童生徒の保護者への支援について</p> <p>④フリースクールにかかる事業者や保護者への支援について</p> <p>⑤学校に行けていない児童生徒へのICTを活用した支援について</p> <p>⑥本市のいじめ認知件数の現状について</p> <p>⑦いじめの未然防止に向けた取組みについて</p> <p>⑧大阪弁護士会によるいじめ予防授業について</p> | <p>①本市不登校児童生徒数の直近3年の推移は、小学校は、令和5年度は191人、令和6年度は195人と微増したものの、令和7年度は149人と減少。中学校は、令和5年度は344人、令和6年度は317人、令和7年度は314人と減少。</p> <p>②本市全学校に設置している校内教育支援センターにおいて、安心して過ごせる居場所づくりや個に応じた学習支援を行い、段階的な教室復帰や社会的自立につながる支援を行っている。また、当該児童生徒や家庭とのつながりを維持することが重要であることから、家庭訪問や電話連絡、オンラインを活用した面談等を行い、児童生徒や保護者との継続的な関わりに努めている。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と連携しながら、市教育支援センターへの参加につなげることや、学習活動や体験活動の場面において、人との関わりを通じて、児童生徒の社会的自立をめざし支援している。</p> <p>③市として、学校に行けていない、あるいは行きにくい児童生徒の保護者による交流会として「ほっとスペースグリーン」を各学期ごとに実施し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による相談支援も行っている。</p> <p>④フリースクール等は学校に行きづらい児童生徒にとって多様な学びの場の一つであると認識している。学校が把握しているフリースクール等を利用する児童生徒数は、小学生4名、中学生13名、合計17名。本市では学校とフリースクール等との連携を図るとともに、児童生徒の状況に応じて出席扱いとするなど、個々の実態に応じた対応を行っている。また、令和6年度には、フリースクール関係者と学校教職員が取組みについて意見交換を行い、交流する研修を実施した。フリースクール等の利用にあたっては、各施設の利用料や交通費など、家庭に一定の経済的負担が生じる場合があることも認識している。利用する家庭への経済的支援については、国や府の動向、他自治体の取組状況等について、引き続き情報収集を行っていく。</p> <p>⑤ICTを活用した学習支援は、不登校児童生徒の学びの保障を図るうえで有効な手法の一つであると認識している。各校においても、オンラインによる学習支援や市教育支援センターからの発信等を実施しており、今後も他自治体の先進事例を参考に研究していく。</p> <p>⑥本市の令和7年度のいじめ認知件数は、小学校869件、中学校630件、令和6年度の認知件数の千人率と比較すると、小学校では微減、中学校では微増している。いじめはどの子どもにも起こり得る認識のもと、早期発見・早期対応につなげるため、今後も軽微な事案も含めて積極的認知に努める。</p> <p>⑦各校では、道徳教育や人権教育、情報モラル教育等を通じて、他者を尊重する態度の育成に取り組んでいる。また、児童生徒が中心となった、いじめ防止にかかるキャンペーン活動の実施、教職員研修を通じた「いじめを未然に防ぐための学級経営」の推進、児童生徒に対する定期的なアンケートや教育相談等を学校の実態に応じて実施し、未然防止だけでなく、早期発見にも努めている。</p> <p>⑧大阪弁護士会によるいじめ予防授業は、児童生徒がいじめを法的な視点から考え、自他の人権を尊重する意識を高めることを目的としている。令和7年度は本市の3校で実施し、令和8年度は5校が実施する予定。また、大阪弁護士会による予防授業とは別に、大阪府教育委員会のスクールロイヤーによるいじめ予防授業も活用し、毎年、本市から1校選出いただき、今年度も実施する予定。</p> |

3. 一般質問

| No | 質問議員 | 項目                          | 担当課（室）名 | 質問・要望                                                                                                                                   | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|------|-----------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 吉川議員 | 小中学校でのいじめ、学校に行けていない児童生徒について | 学校教育室   | <p>⑨いじめを認知した際の学校の対応について</p> <p>⑩子どもからのSOSの把握と、相談しやすい環境づくりについて</p> <p>⑪児童生徒から発信できる相談支援システム導入の検討状況について</p> <p>⑫児童生徒から発信できるシステムの導入について</p> | <p>⑨いじめを認知した際には、速やかに事実確認を行い、必要な支援や指導を行うため、校内いじめ対策委員会を中心として組織的に対応している。被害児童生徒の安全確保を最優先に、保護者と連携しながら支援を行う。また、加害児童生徒への指導と、その保護者への助言を進め、いじめ事案にかかる進捗確認を最短3か月実施している。</p> <p>⑩各校において、アンケートや教育相談に加え、日常的な観察を通じて児童生徒の変化を把握するよう努めている。また、スクールカウンセラー等の専門家とも連携し、児童生徒を対象にSOSの出し方についての取組みを行うとともに、教職員がSOSを受け止めることができるよう研修を実施している。</p> <p>⑪子どもたちが安心して相談できる環境づくりは重要であり、対面やオンラインなど、複数の実施形式が必要であると認識している。いじめや学校に行けていない子どもたちへの対応においては、子どもたちの小さなSOSを早期に把握し、適切な支援につなげることが重要である。現在、アンケートや教育相談等に加え、ICTを活用した新たないじめ相談手法についても検討を進めており、具体的にはAIを活用したいじめ相談支援システムの活用について、現在も関係機関との協議を進めており、さらに検証を重ねたうえで、3学期からのトライアル事業の実施の可能性も含めて調整している。</p> <p>⑫児童生徒がより相談しやすい環境づくりに向け、AIを活用した相談支援システムを含めた新たな相談手法について検討を進め、その効果や課題を十分に検証していく。ただし、AIは相談の入り口を広げるためのものであり、この体制も活用して、子どもたちの周りには、先生や保護者、地域の方など、様々な大人がかかわっていく中で育まれる信頼関係によって、子ども一人一人が安心して安全な学校生活を送れるようになる事が何よりも重要なこと。「誰かに見守られている」「困ったときには相談できる」と感じられる学校づくりを引き続き大切にしていく。</p> |
|    |      | 校庭開放について                    | 生涯学習推進室 | <p>①進捗状況について</p> <p>②アンケートの状況について</p> <p>③保険などについて</p> <p>④怪我をした場合の対応について</p> <p>⑤野球やサッカーなど公園では出来ない遊びについて</p> <p>⑥今後のスケジュールについて</p>     | <p>①現在、大阪府内全ての自治体に対しアンケートを実施している。</p> <p>②アンケートは、42自治体に送付、39自治体から回答があり、平日の放課後に校庭開放を実施している自治体は、毎日開催が12自治体、週2日から4日開催が4自治体、週1日開催が3自治体で計19自治体となっている。</p> <p>③校庭開放利用時に受付を行っている自治体はスポーツ保険などに加入している。自由に入出りが出来る、いわゆる完全開放を実施している自治体は保険未加入の自治体もある。また、保険に加入した場合の保険料の徴収について課題となっている自治体もある。</p> <p>④子どもの転倒などによるかすり傷や打撲などが多く、この場合、見守り員による消毒などで対応している。骨折、捻挫、熱中症等など、見守り員では対応を判断できない場合、救急車を要請する。</p> <p>⑤校庭開放を実施している自治体のグラウンドでの遊び方は、野球の場合、2自治体は野球を自由に出来る、他の自治体はやわらかいボールやプラスチック製のバットの使用のみとしている。また、サッカーを禁止している自治体は1自治体である。</p> <p>⑥校庭開放事業は、管理体制や受付の方法、学校との調整、費用面の算出、保険など、多くの検討課題があり、来年度以降、出来る限り早期の実現に向けて鋭意努力する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

3. 一般質問

| No | 質問議員 | 項目           | 担当課（室）名 | 質問・要望                                                                                                                                                                                                                                                                               | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|------|--------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | 大坪議員 | 熱中症対策について    | 生涯学習推進室 | <p>①市民体育館への空調導入およびコミュニティ体育館への空調導入について</p> <p>②照明のLED化およびカーテン等の設置について</p>                                                                                                                                                                                                            | <p>①市民体育館への整備について、令和8年度に設計、令和9年度に工事を実施し、令和10年度から供用開始を予定しており、財源については、緊急防災・減災事業債の活用を想定している。次にコミュニティ体育館は、市民体育館への整備が完了したのちに、冷暖房設備の整備を進めていく。</p> <p>②市民体育館の照明のLED化については、さらなる休館期間を発生させないように、令和9年度に冷暖房設備の工事と併せて改修する予定。また、冷暖房設備の効率的な使用に向け、遮熱対策となるカーテンやガラスフィルム等の必要性などについても検討していく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3  | 原議員  | 学童保育の民営化について | 生涯学習推進室 | <p>①学童保育の民営化の現状について</p> <p>②労働組合との協議の進捗状況について</p> <p>③より高額な民間委託を実施する理由について</p> <p>④委託対象校で何人が退職するのかについて</p> <p>⑤委託する必要が無いことについて</p> <p>⑥民間事業者からの要望について</p> <p>⑦事業者とヒアリングはおこなっているのかについて</p> <p>⑧見積徴収はおこなっているのかについて</p> <p>⑨近隣複数校も一括して委託する理由について</p> <p>⑩人材派遣会社ではなく民間委託を選択した理由について</p> | <p>①（仮称）富秋学園 他3校の留守家庭児童会の運営業務委託に関するプロポーザルは、現在、ホームページで事業者募集を行っており、本市に事業者登録があり、過去5年間で他の自治体で留守家庭児童会や保育所等の運営委託実績がある事業者を条件としている。さらに子どもが魅力を感じる取組の提案をしてもらえる事業者を募集している。今年9月に審査を行い、事業者を決定し、令和9年4月から円滑に業務が履行できるよう今年の10月中に契約を締結し進める予定である。</p> <p>②労働組合との協議は、労働組合からの要求書に対し、「今後も留守家庭児童会の運営を安定的に継続し、子どもの最善の利益を守れるようにするため、業務委託等の民間活用も含め運営方法を検討してまいります。」などの回答を行い、回答時には協議をおこなっている。</p> <p>③留守家庭児童会の支援員は随時募集しているが、放課後から運営が始まり、勤務時間が午後からとなることもあり、人材確保が難しい状況となっている。また、現在勤務する支援員の年齢も高くなってきており、今後、定年退職を迎える支援員が多くなる見込みであり、雇用面で課題があるため、直営と比較して予算は必要となるが、民間事業者の人材確保力や事業運営のノウハウを生かし、安定した運営を行うため、民間委託するものである。</p> <p>④委託対象校では、令和8年度末での定年退職者はいない。また、現在退職希望者もない。</p> <p>⑤委託対象校には退職者はいないが、市内63クラブには退職者がおり、今後も円滑に運営するために民間委託を行う。</p> <p>⑥民間事業者からの要望により、民間委託を実施するものではない。民間委託を行う理由は今後の直営による人材の確保の不安定さなどから、民間事業者を活用し安定した運営を行うためである。</p> <p>⑦民間事業者にヒアリングはおこなっていない。</p> <p>⑧見積徴収はおこなった。</p> <p>⑨既に民間委託している槇尾学園では、大きな課題が無く保護者からも好評であることが確認できている。次に、今後支援員の定年退職等により人材が不足することが見込まれる。また、複数校を委託することで、人材配置の点など、運営事業者の参入も得やすく、費用面でスケールメリットも働き、コストが一定抑制されと考えられることから、複数校での一括委託を行うものである。</p> <p>⑩人材派遣は、現在も夏休み期間など期間を限定し契約しているが、派遣された支援員は、他の支援員と同様に市から管理・指示するものとなる。また支援員に関する苦情なども市が受けるものとなっている。民間委託は、現在市職員が担っている指導員の配置、給与計算、苦情対応なども含めた管理運営業務委託となり、民間事業者の人材確保力や事業運営のノウハウを生かした安定した運営、さらに職員の業務の効率化が見込まれるため、民間委託を行おうとするものである。</p> |

3. 一般質問

| No | 質問議員    | 項目                            | 担当課（室）名 | 質問・要望                                                                                                                     | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----|---------|-------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | デルフィン議員 | 池上曽根遺跡のスケートボードについて            | 文化遺産活用課 | <p>①第2期整備エリアの一部供用開始時期と供用開始部分について</p> <p>②一部供用開始エリアの使用状況について</p> <p>③現状と課題について</p> <p>④課題解決について</p> <p>⑤今後の活用について</p>      | <p>①令和8年4月から東入口広場や管理用入口部分の供用を開始。</p> <p>②東入口広場は、平日早朝には、ウォーキングやランニング、夕方には小・中学生や高校生がスケートボードに利用している。また休日には、お子さんを伴う親子連れの方々により、スケートボードやキックボード、自転車の練習の場として利用されている。</p> <p>③課題として、ゴミのポイ捨て・散乱、歩道から広場に向かって滑走するなど危険な滑走行為、広場への落書きなどがある。</p> <p>④ゴミ対策としてゴミ箱を設置し、危険な滑走防止策として、歩道からの入り口にチェーンを設置した。落書きについては、発見後速やかに警察に被害届を提出し、注意喚起の掲示を行うなどの対策を講じている。また、公園利用マナーの看板も設置、利用者への啓発活動にも取り組む。</p> <p>⑤スケートボードの専用器具の設置は想定していない。専用器具の持ち込みについては、利用後に、その都度持ち帰りいただくことを条件に使用を認めている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5  | 関戸議員    | 和泉市市民活動推進支援事業をはじめとする補助金制度について | 文化遺産活用課 | <p>①だんじり本体および曳行という行為の価値について</p> <p>②和泉市における補助について</p>                                                                     | <p>①「だんじり」には、地域の歴史や文化を反映した彫り物が施されるなど、だんじり本体そのものが貴重で高い価値があると認識している。また、「だんじりの曳行」は、次代に継承していくべき伝統行事であるとともに、長きにわたり地域に根差した貴重な財産であり、世代を超えた絆や地域コミュニティの活性化にも大きな役割を担っているものと認識している。</p> <p>②「だんじり」の維持・継承には、地域の方々の多大なご苦勞があり、費用の面でも負担が大きいことは認識している。新たな支援策については、まずは文化庁に対し、文化庁補助金の柔軟な運用を求めるとともに、関係課との調整もふくめ、他市の事例なども参考にしつつ研究する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 6  | 北川議員    | 不登校支援について                     | 学校教育室   | <p>①不登校の現状について</p> <p>②不登校が減少した要因について</p> <p>③市教育支援センター及び校内教育支援センターに登室している児童生徒数について</p> <p>④学校等につながる事が難しい児童生徒への支援について</p> | <p>①本市における令和7年度の不登校児童生徒数について、小学校149人、中学校314人、合計463人となっている。全国的には不登校児童生徒数は増加傾向にあるが、本市においては、小学校では前年度より、中学校においては令和5年度よりそれぞれ減少している。現状は減少傾向にあるが、状況を解消することは、重要な教育課題の一つであると認識しており、引き続き児童生徒一人ひとりに応じた支援に努める。</p> <p>②不登校に至る背景は複雑かつ多様であるため、減少の要因は一つに特定できないが、本市では、不登校の未然防止及び早期対応を図るため、欠席初期段階からの組織的対応に力を入れている。また、市教育支援センターに加え、各校の校内教育支援センターの活用、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家との連携による支援も進めており、これらは不登校減少につながる取組みであると考えている。</p> <p>③令和7年度、市教育支援センターのグリーンルームに登室していた児童生徒数は、小学生6人、中学生17人、合計23人。続いて、校内教育支援センターを活用していた児童生徒数は、小学生40人、中学生141人、合計181人。次に、学校が把握しているフリースクール等を利用していた児童生徒数は、小学生4名、中学生13名、合計17名。また、学校内外で、相談・指導等どこにもつながっていない児童生徒はいない。</p> <p>④本市においては、保護者との面談や家庭への働きかけを継続するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等の専門家からなる「チーム学校」の機能を生かし、様々なアプローチにより、まずは児童生徒及び保護者との信頼関係を構築することに努めている。加えて、関係諸機関との連携を進め、オンライン等も活用しながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。今年度は、安心安全な学校支援体制の醸成にむけ、「SOSの出し方、受け取り方」に重点をおき、取組みを実施している。</p> |

3. 一般質問

| No | 質問議員 | 項目           | 担当課（室）名 | 質問・要望                                                                                            | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|------|--------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6  | 北川議員 | 放課後の校庭開放について | 生涯学習推進室 | ①放課後の校庭開放の目的について<br>②校庭開放をどのような方向性で進めていくのかについて<br>③アンケート調査の項目について<br>④校庭開放の実現をめざして検討を進めているのかについて | ①見守り員を配置し、校庭で公園のように自由に遊べる場所を確保することを目的とした事業。<br>②現在、大阪府内全ての自治体に対しアンケートを実施している。<br>③事業の内容、見守り員確保方法・配置状況、参加児童の費用負担の有無、児童の家族への連絡体制、怪我等をした場合の対応、保険の有無、事故が起こった場合の責任の所在など。このアンケート結果を本事業の課題整理、学校への相談、費用面の算出などに活用したいと考えている。<br>④校庭開放事業は、管理体制や受付の方法、学校との調整、費用面の算出、保険など、多くの検討課題があり、来年度以降、出来る限り早期の実現に向けて、鋭意努力する。 |

叙勲について

学校教育室

|        |                                                                                                                                                                |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【死亡叙勲】 |                                                                                                                                                                |
| 受章者氏名  | 元和泉市立鶴山台南小学校長 辻 治（81歳）                                                                                                                                         |
| 受章者居住地 | 和泉市今福町                                                                                                                                                         |
| 叙 勲 名  | 瑞 宝 双 光 章                                                                                                                                                      |
| 位 記    | 正 六 位                                                                                                                                                          |
| 略 歴    | 昭和45年 和泉市立南松尾小学校教諭<br>昭和50年 和泉市立北松尾小学校教諭<br>昭和61年 和泉市事務吏員・指導主事<br>平成 2年 和泉市立南池田小学校教頭<br>平成 7年 堺市立高倉台小学校長<br>平成10年 和泉市立緑ヶ丘小学校長<br>平成13年 和泉市立鶴山台南小学校<br>平成17年 退職 |
| 伝 達 日  | 令和8年7月10日                                                                                                                                                      |